

令和 1年度 審判講習会(第14期)実施報告

【審判部】

令和2年 3月 24日

1. 実施報告

- 1) 開催日時 令和 1年 10月27日(日) 8:30～受付 8:45～15:00
- 2) 会場 ひたちなか市那珂湊体育館
- 3) 申し込みチーム数 9チーム(H29・12チーム H30・9チーム) 参加人数 17名 (H29・27名 H30・19名)
(モデルチーム協力:8チーム・20名)
- 4) 講習会内容 :全国ママさんバレーボール連盟の【ガイドライン2010】に添って講習を行う。
:初めに主審・副審の動き(試合開始からの流れ等)を、模範形式で説明
:経験者は、ゲーム形式で実習・未経験者は別コートで講習後実習
:質疑応答
- 5) 実技講習 :経験者・未経験者を分けて、レベル別での実習
:今年は、試合開始からセット間を含めた、主審・副審の動きに焦点を当てた。

2. 反省及び改善点

- 1) 審判講習会の狙い・目的
狙い ⇨ :全登録チーム…主審・副審の技術を確実に習得すると共に、審判団としての意識を持つ。
目的 ⇨ :主審・副審の役割を明確にするとともに、試合のスムーズな進行に心がける。
:初心者の方々に、先ずはホイッスルを思い切りふけるようになってもらう。
:ホイッスルの音に変化を付ける事で、試合運びをスムーズにする。
:チーム内ですべて審判が出来るチームを増やす。
- 2) 開催趣旨 :全国ママさんバレーボール連盟【ガイドライン2010】のルールの周知徹底。
:受講生の審判技術の向上・習得を図る。
:円滑な大会運営を行うため。
- 3) 理論と実践
:理論 ①バレーボール規則【ガイドライン2010】の研修
②審判理論(含むハンドリング)の研修
:実践 ①基礎編 ホイッスルの吹き方(強弱・長短・タイミング)
②総合編 ゲーム形式の中で、主審・副審の役割の実施

3. 総評

- :経験を積んだ方と、初心者のレベルの違いの中で理解度に差があった様に思います。
- :ある程度経験を積んだ方々は、試合全体の流れをつかんで頂けたと思います。
- :初心者の方には、主審・副審の動きと共に記録線審についても説明にもう少し時間が必要。
- :審判をする機会が少ない為、技術の向上に時間を要する。
- :審判技術のレベルアップの為、すべての審判の繋がりを意識した試合形式での講習と共に未経験者への審判講習の受講の促しの必要性を感じる。
- :一人でも多くの方に審判への理解を得られるように、講習会を開催するにあたり講習が出来る人材の確保。